【4-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	乳癌術前の治療方針決定に乳房MRIは有用か？
対象	原発性乳癌
介入	乳房MRIあり
対照	乳房MRIなし

エビデンスの強さはRCTは"強（A）"からスタート、観察研究は弱（C）からスタート
* 各ドメインは"高（-2）"、"中/疑い（-1）"、"低（0）"の3段階
** エビデンスの強さは"強（A）"、"中（B）"、"弱（C）"、"非常に弱（D）"の4段階
*** 重要性はアウトカムの重要性（1～9）

エビデンス総体

								リスク人数（アウトカム率）											
アウトカム	**研究デザイン/研究数**	**バイアスリスク***	**非一貫性***	**不精確***	**非直接性***	**その他(出版バイアスなど)***	**上昇要因(観察研究)***	**対照群分母**	**対照群分子**	**(%)**	**介入群分母**	**介入群分子**	**(%)**	**効果指標(種類)**	**効果指標統合値**	**信頼区間**	**エビデンスの強さ****	**重要性*****	**コメント**
局所再発率減少	RCT/1 コホート/6 症例対象研究/4	0	0	0	0	0	0	3543	125	3.5	3100	83	2.7				中(B)	9	乳房MRIの有用性を証明していない報告が多い（3/11で有意差あり）
広がり診断の精度向上	症例対象研究/8	0	0	0	0	0	0	695			652						弱(C)	9	評価方法が異なる論文を集めたが広がり診断の精度はMRIが最も高いとする報告が多い
感度上昇	メタアナリシス/1	0	0	0	0	0	0				3101	2808	90			0.88-0.92	弱(C)	8	感度は90%と高い
偽陽性率増加	症例対象研究/3 症例集積/1	0	0	0	0	0	0				295	164	56				弱(C)	8	本邦からの報告でMR-detected lesion（両側）の偽陽性率は56%。海外のメタアナリシスではindex lesionと同側のMR-detected lesionの偽陽性率は43%、反対側の偽陽性率は74%。
対側乳癌再発率減少	コホート/3(2) 症例対照研究/4	0	0	0	0	0	0	3107	91	2.9	2968	46	1.5				弱(C)	7	フォローが短いものや片側撮影の報告も含む。片側撮影を除くと有用性を証明した報告も多い（3/6で有意差あり）

コメント（該当するセルに記入）

					多くは欧米の施設からのデータ													
					術前以外のMRIも含む													
		フォローが短いものや片側撮影の報告も含む																